

# 令和5年度 小麦生育状況 No. 4

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 水田利用研究室  
 (生産基盤研究部：TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

## I 農業研究センター本部（北上、調査日：3月14日）

### 1 気象経過

2月下旬～3月中旬の気温は平年より低く経過した。降雪は、3月第1～第2半旬は平年より多くなった（図1）。

3月14日現在で、農研センター（北上）における根雪期間は0日であり、降雪・積雪のあった合計日数は50日であった。また、最も積雪が継続した期間は2月21日から3月14日の23日間であった（表1）。

### 2 生育概況

播種後160日の「ゆきちから」・「ナンブコムギ」の生育は、越冬後調査時（例年3月25日前後）の平年値と比較すると、草丈は長く、m<sup>2</sup>当たり茎数は多くなった。「ナンブキラリ」の生育は、「ナンブコムギ」と比べて草丈は長く、m<sup>2</sup>当たり茎数は多くなった。幼穂の生育は、各品種ともVI～VII程度であり、幼穂長は1mm程度であった。（表2、3）。

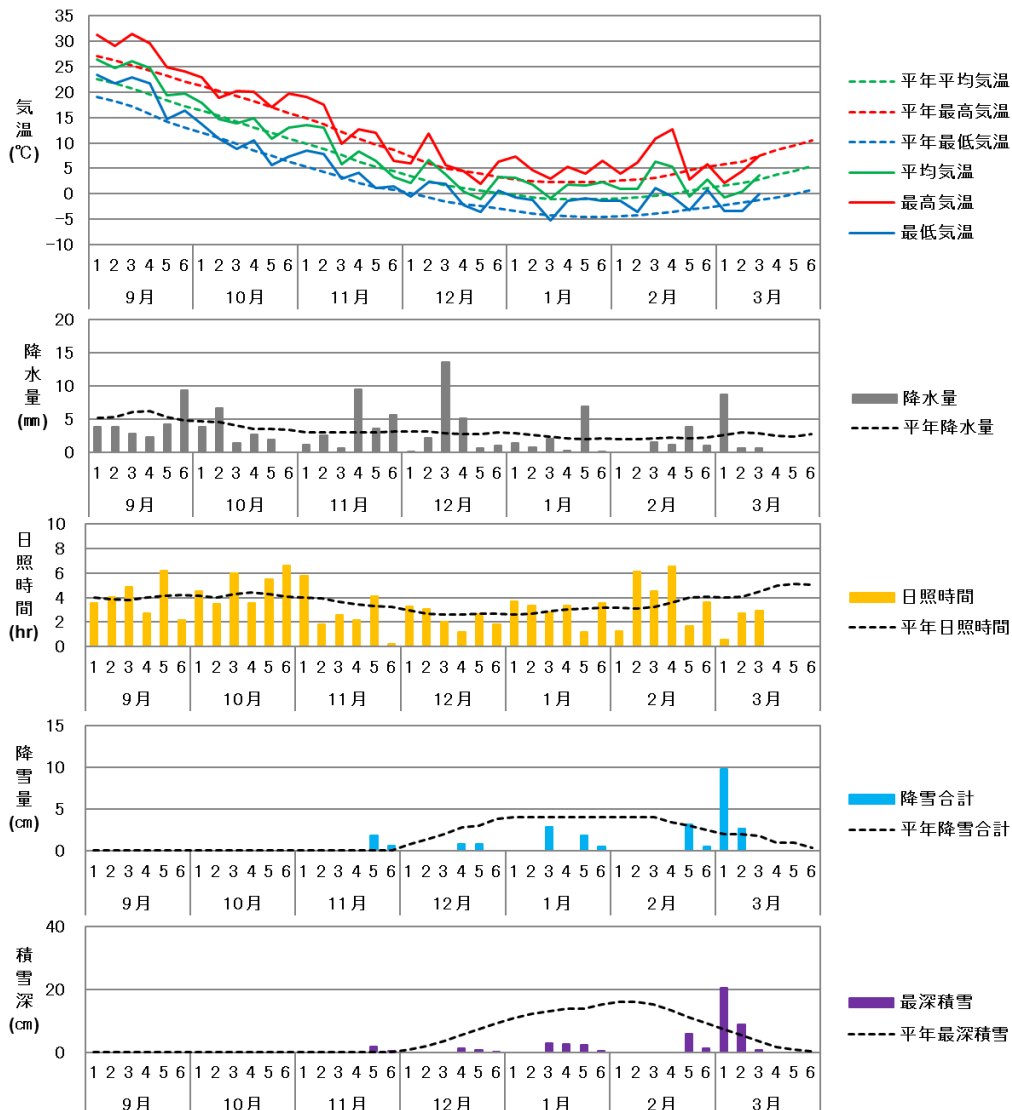


図1 令和5年播種小麦の生育期間中の半旬別気象経過図（北上アメダス）

表1 根雪期間

年次 播種－収穫	根雪期間			積雪+降雪日数
	始め	終わり	日数	
R5-6	(2/21)	(3/14)	(23)	50(3/14現在)
R4-5	12/15	2/27	75	
R3-4	12/25	3/15	82	
R2-3	12/14	2/27	76	
R1-2			0	44 ※
H30-31			0	45 ※
H29-30	12/12	3/14	94	
H28-29	1/9	3/13	65	
H27-28	1/14	2/14	32	
H26-27	12/2	2/28	89	
H25-26	12/20	3/24	96	
H24-25	12/24	3/15	83	
H23-24	12/23	3/27	96	
平年	12/22	3/8	79	

根雪期間  
 ①長期積雪(積雪継続が30日以上)の時の初日から終日までの期間  
 ②積雪継続が10日以上で2つの期間が2つ以上で、かつ、2つの期間の無積雪日が5日以内  
 ③上記②が2つ以上ある場合はそれぞれを第一、第二とし、根雪期間は第一の初日から第nの終日とする。

※は、気象庁の定める長期積雪(根雪期間、積雪継続が30日以上)を満たしていない年次

表2 生育状況 (令和6年3月14日調査、播種後160日)

品種	播種年次	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )
ゆきちから	5年	17.8	9.1	1,193
	越冬後調査時の平年値	16.4	7.8	865
	差・比	1.4	1.3	138%
ナンブコムギ	5年	17.4	9.2	833
	越冬後調査時の平年値	16.9	7.7	726
	差・比	0.5	1.5	115%
ナンブキラリ	5年	21.3	7.7	1,253
	越冬後調査時の平年値	-	-	-
	差・比	-	-	-

※ 平年値は、越冬後調査時(例年3月25日前後)の値であり、平成30年、令和元年～4年播種の5か年平均を用いた

表3 幼穂の生育状況

品種	播種年次	発育ステージ	平均幼穂長 (mm)
ゆきちから	5年	VI～VII前期	1.24
ナンブコムギ	5年	VI～VII前期	1.34
ナンブキラリ	5年	VI～VII後期	1.04

※ 10株/品種の主茎の幼穂を調査。

※ 発育ステージは、「コムギ・オオムギの発育調査基準の再整理(2022)」より推定

表4 耕種概要

品種	ゆきちから	ナンブコムギ、ナンブキラリ
播種期	令和5年10月4日（標準播種期：10月5日）	
栽培様式	密条播（条間30cm）、転換1年目（前作水稻）	
播種量（kg/10a）	7.0（手播き）	6.0（手播き）
堆肥・緑肥（kg/10a）	牛糞堆肥1,000	
施肥量(kg/10a) 基肥	窒素：6.0 リン酸：8.5 カリ：8.5	

## 雑草・病虫害防除

雪腐病（種子消毒）	ベフラン液剤25：原液
縞萎縮病（播種前）	フロンサイドSC：600mL※（10月3日）
除草剤（播種後）	ガレースG：5kg（10月7日）
雪腐病（根雪前）	フロンサイドSC：100mL※（12月4日）
除草剤（秋）	エコパートフロアブル：100mL※（11月15日）

※ 100Lの水で希釈し10aに散布



写真1「ゆきちから」のほ場の様子 (3/18 撮影)



写真2「ゆきちから」の幼穂



写真3「ナンブコムギ」のほ場の様子 (3/18 撮影)



写真4「ナンブコムギ」の幼穂



写真5「ナンブキラリ」のほ場の様子 (3/18 撮影)



写真6「ナンブキラリ」の幼穂